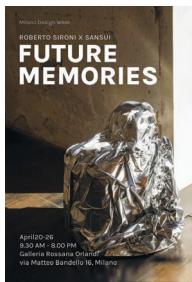


施設内装の設計・施工などを手掛ける、山翠舎（本社）長野市、山上浩明社長）は7日、自社ブランド「ANSU」が、今月下旬にイタリアのミラノで開催される「ミラノデザインウィーク2026」に出展すると発表した。古民家の木製の梁とステンレス鋼板を組み合わせた8つの作品を展示する。作品で使用される板厚6・0ミリのSUS3



ミラノデザインウィークに出展

山翠舎作品にイノウエ協力

ミラノ展で、古木とステンレス

04の供給を、ステンレス・高合金流通のイノウエ（本社）東京都千代田区、井上浩樹社長）が担当した。

山翠舎は、木材を用いた店舗などの内装の設計や施工、古民家の再生事業、古民家で発生した古い木材「古木」の販売を手掛ける。

ミラノに出展する「FUTURE MEMORIES」は、人と自然の共生など「古民家が持つ哲学的・文化的価値を、現代デザインの文脈から世界へ鮮明に浮かび上がらせる（同社）ことを目的としたもの。古民家から回収した木材で積み重ねた時を表現し、精緻に磨き上げられたステンレスの鏡面仕上げで「伝統的

な古木の梁材と対をなす現代素材（同）を表現する。デザイナーとしてイタリアの著名デザイナー、ロベルト・シローニ氏を招き、人類学的な考察によって制作した。

イノウエは、プロジェクトの理念に共鳴し、展示の象徴的な要素となるSUS304鏡面仕上げを供給している。

「ミラノデザインウィーク2026は今年20日から26日にかけて開催予定。期間中、世界で最も影響力のあるデザインギャラリーの一つ「ロッサーナ・オルランディ」の93平方メートルの展示スペース内に作品を展示する。